

これは、2012年9月28日にダイムラー社から発表されたプレスリリースの日本語抄訳です。

ダイムラーとルノー・日産アライアンス、協力関係を拡大

Press Information

2012年9月28日

- ・ ダイムラーとルノー・日産アライアンス、低燃費エンジンおよびトランスミッションで協業
- ・ 順調な従来プロジェクトは世界に拡大

ダイムラーとルノー・日産アライアンスは、低燃費パワートレインの開発を加速するため、2つの新たなプロジェクトに関して協業を行っていきます。

まず、新しいエンジンの開発プロジェクトでは、共同で4気筒ガソリンエンジンを開発します。このプロジェクトは、ルノーとダイムラーの主導により行われる予定です。このターボチャージャー付き直噴エンジンは、コンパクトなパッケージングの中に最先端の技術が搭載されており、排出ガスの低減に加え、燃費の大幅な向上を目指しています。

新型エンジンは共同で生産される予定です。これらのエンジンは、2016年にダイムラー、ルノー、日産の車両に搭載されます。

ダイムラーが中心となって進められる予定の新型トランスミッションプロジェクトでは、日産へダイムラーの技術を適用した生産を許諾しました。このトランスミッションは、2016年からニッサンおよびインフィニティの車両へ搭載される予定です。

このトランスミッションは、日産の子会社であるジャトコのメキシコ工場で生産されます。アイドリングストップに対応した技術およびパーク・バイ・ワイヤとシフト・バイ・ワイヤ技術が採用される予定です。

ゴーンCEOは、「これらの新しいコンポーネントは、お客さまへ具体的なメリットをもたらすとともに、我々の協力関係が幅広い範囲で急速に拡大していることを示すものです。私たちの関係は、有機的に、合理的に拡大しています。」と述べました。

ツェツェCEOは、「私たちの協力関係は今年、画期的な局面を迎えました。本パートナーシップで初となる車両とエンジンが世に出たのです。また、エンジニアたちは、オープンマインドで新鮮な視点で、協業が可能な新しい分野に目を向けています。」と語りました。

ゴーンCEOとツェツェCEOは、2010年に発表した主要プロジェクトについて、既にいくつかは達成され、それ以外も順調に進んでいることを改めて確認しました。燃料電池自動車のパワートレインの先行研究も進めているほか、それぞれの小型ゼロエミッション車用のバッテリーおよびパワートレイン部品を相互に供給するプログラムにも取り組んでいます。